

さば和則

市内特別
郵便



県政REPORT

No.37

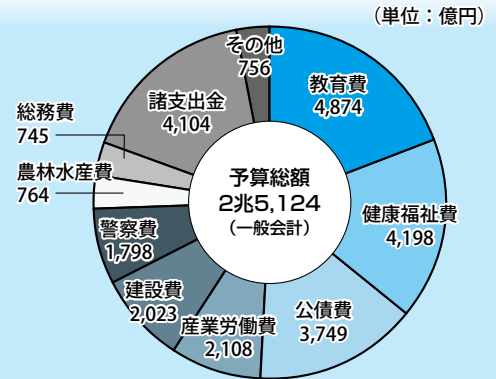
佐波和則オフィシャルサイト www.saba-3839.jp



～未来へ輝く「進化する愛知」～

2月定例議会は、2月25日～3月20日まで24日間の会期で開かれ、総額2兆5,124億円余の平成31年度一般会計予算案や愛知県部局設置条例の改正案などを審議し、全議案を可決いたしました。知事は、愛知の経済・産業を強化し、雇用をつくり、現地・現物・現場主義を貫いて、「日本一元気な愛知」「すべての人が

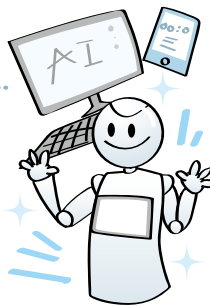
輝く愛知」、県民の皆様全てが豊かさや多様な文化、スポーツ、歴史を享受できる「日本一住みやすい愛知」を実現し、未来へ輝く「進化する愛知」を創っていききたいと述べられました。また、石原君雄副知事の後任に松井圭介企業庁長が、平松直巳教育長の後任に長谷川洋総務部長が選任されました。



主な代表・一般質問要旨

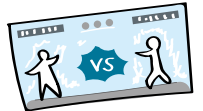
Q しなやか県庁創造プランの成果と今後の取り組みについて

知事 第5次行革大綱で1,279億円の行革効果をあげました。今後は、愛知総合工科高校専攻科の公設民営や有料道路コンセッションなどの民間活力導入に加えて、県庁組織を全面的に再編するほか、AI・ロボティクスを活用した業務改革にも取り組んでいきます。



Q 国際展示場の開業イベントについて

知事 8月30日にオープンする愛知県国際展示場の開業イベントとしてeスポーツ国際大会を開催します。この国際大会の運営に、よしもとクリエイティブ・エージェンシーなどが参画し、対戦の様子を動画配信する計画です。
※eスポーツは対戦型コンピューターゲームで争う競技



Q 女性の活躍促進について

知事 「女性の活躍促進宣言」や「女性輝きカンパニー」が目標を大きく超えた一方、役員や管理職の女性割合は全国平均以下となっています。再度のアンケート調査で課題を検証していきます。



Q 高校生の消費者教育について

知事 成人年齢が18歳に引き下げられる2020年4月に向け、県は2019年度に、県消費生活総合センターに「消費者教育コーディネーター」を配置し、2020年度から県内の全公立高校と特別支援学校で、消費生活相談員を派遣して、消費者教育を実施します。

Q 高齢者の交通安全対策について

警察本部長 高齢者の事故死者の半数以上が自宅から500メートル以内の場所で事故に遭っています。こうした検討結果をもとに、産官学が連携して総合的な高齢者事故対策のランドデザインを策定し、本年度末までに公表します。

平成31年度 主な事業

ジブリパークを2022年に実現

本年度進めている基本構想及び基本設計を踏まえ、ジブリの世界を再現した施設の実施設設計を行うとともに、ジブリの大倉庫の予定場所である旧温水プール棟内部の撤去工事を進

めます。他にも、交通対策の検討における関係者・関係機関との協議・調整など、引き続き開業に向けた準備を進めていきます。

【施設整備スケジュール】

- ①青春の丘エリア、②ジブリの大倉庫エリア、③どんどこ森エリアは、2022年秋の開業を目指す。
④もののけの里エリア、⑤魔法の谷エリアは、①～③の開業から概ね1年後の開業を目指す。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
①青春の丘エリア	基本設計 基本構想	実施設計	工事	工事	開業	概ね1年後
②ジブリの大倉庫エリア						
③どんどこ森エリア						
④もののけの里エリア			実施設計	工事	開業	
⑤魔法の谷エリア						



愛知県国際展示場

「Aichi Sky Expo」開業

「産業首都愛知」の産業振興の拠点として、さらには、国内初の国際空港に隣接する立地特性等を生かした国際的な交流拠点を目指し、愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」を平成31年8月30日にオープンします。



第70回全国植樹祭の開催

「木に託す もり・まち・人の あす・未来」をテーマに2019年6月2日(日)に開催されます。

開催規模：10,000人程度

主要行事：天皇后両陛下による「お手植え・お手播き」、県内外招待者による植樹、国土緑化運動ポスター、コンクール等表彰、大会宣言等
式典会場：愛知県森林公園(尾張旭市・名古屋市守山区)

産業人材・雇用

技能五輪全国大会と全国アビリンピックを2019年度、2020年度に連続で開催します。また、働き方改革の取り組みを支援するため、街頭啓発活動や企業向けセミナー等を実施する他、若者の職場定着に向け、企業へのアドバイザーの派遣や若手社員向けセミナーを開催していきます。さらに、外国人雇用に関するマニュアルの作成など、外国人の雇用拡大に向けた企業の取り組み支援も行っていきます。

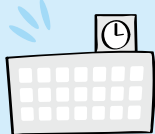


文化・スポーツの振興

「あいちトリエンナーレ2019」を2019年8月1日から10月14日の期間で開催します。また、「ラクビーワールドカップ2019」が2019年9月20日から11月2日の期間で開催され、トヨタスタジアムで4試合が予定されています。期間中、スカイホール豊田にファンゾーンが設置され、パブリックビューイングやラグビー体験、地域(愛知・豊田)のPR活動や出場国の紹介等を実施します。他にも、1.2万～1.5万以上の観客席を有しバスケットボール、バレーボールの世界選手権規定に適合する新体育館の整備を行います。

教育環境の整備

2019年度からの5年間で、普通教室棟、管理棟及び一部の特別教室棟にある湿式トイレ(131校・318棟・2,094か所)の環境改善(床の乾式化、便器の洋式化等)を行います。また、スクールカウンセラーの設置(小・中学校、高等学校、特別支援学校)する他、県立学校教員にタブレット端末等情報機器の配備などの取り組みを行い、授業でのICT活用も推進していきます。



健康マイレージ連携事業

働く世代の健康づくりを推進するために、健康づくりアプリを作成し、企業単位で健康づくりに取り組む仕組みを構築します。

また、運動・食事等の生活習慣の改善や各種健診を受診するなどの健康づくりに取り組んだ方に優待カード等の提供を行う「あいち健康マイレージ事業」と連携し、アプリ利用者にも優待カード等を提供していきます。

